

商系事業者と農業資材店舗を共同運営

水戸農協(茨城県)

取組の概要

- 平成29(2017)年から、ノウハウの豊富な商系の農業資材販売会社と農業資材店舗「JA水戸・農家の店しんしん内原店」を共同運営し、取扱商品数の大幅な増加や土日営業など、組合員の声を踏まえてサービスを向上。

事業化(プロジェクト化)成功のポイント

1 組合員からの要望に応えるための共同運営

組合員からの農業資材店舗に関する「通常在庫(アイテム)が少ない」「土日営業の店舗がほしい」「専門的な相談機能を持った職員にいて欲しい」といったニーズに対応するため、農業資材店舗を全国展開していたアイアグリ株式会社(商系事業者)と店舗を共同運営。

これにより、農業者は農協系統商品とアイアグリの扱う農協系統以外の商品を比較して購入することが可能となり、取扱いアイテム数が約10倍(約2,000→約20,000)になった。

2 共同運営に当たっての様々な工夫

店舗で扱う農協系統商品は、農協からアイアグリに全て販売。

店舗運営は、基本的にアイアグリが行うが、農協からも店舗運営のために職員がアイアグリに出向。

店舗は、農協の金融店舗・直売所と併設。利用者は、これらの施設をワンストップで利用する事が可能。

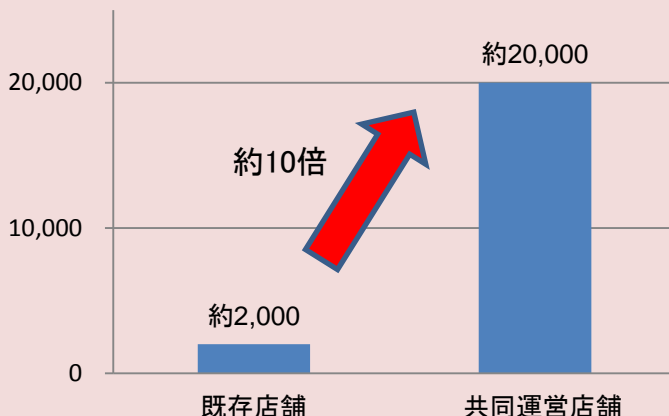
3 農協のメリット

農協は、アイアグリの店舗運営ノウハウを活かして、組合員から要望の多かった土日祝日営業や営業時間を延長し、農協との取引が少ない農業者にも販売ができるようになった。また、同じ敷地内にある直売所について、利用高が増加。

店舗所在地区を担当していたTACを出向させ、店舗の営農アドバイザーとして配置することで、人材育成にも寄与。

農協のメリット・農家のメリット

<店舗での取扱いアイテム数>



<利用者の声>

「(営農指導や資材についての専門的な知識を持ったスタッフが常駐していることから)対応が早い」

「(農協系統商品と農協系統以外の商品を店頭でスタッフに説明を聞きながら)比較して購入できる」

「品揃えが多く、いろいろな商品を見ることができ、欲しいものがそろう」

「年間360日営業しているため、必要なときに資材を購入できることから便利」